

SCOUTING

スカウティング

Scout Association of Japan www.scout.or.jp
平成18年12月1日発行 毎月1回1日発行 第643号 昭和33年12月15日 第3種郵便物認可

NO.643 2006/12



秋田第33団カブスカウト隊 吉田 司 隊長 提供

- 2015年 世界ジャンボリーを日本で開催しよう！
- 日本連盟傷害共済制度 早わかりガイドブック
- スカウトの日 今年も全国で大活躍



財団法人

ボーイスカウト日本連盟

2015年 第23回世界スカウトジャンボリーを日本で開催しよう!

Scout Association of Japan (SAJ) is bidding to host the 23rd World Scout Jamboree - 2015



世界スカウトジャンボリー (World Scout Jamboree : WSJ) は、現在世界216の国と地域で行われているボーイスカウト運動における、4年に1度の世界最大の行事です。来年、世界スカウト運動の100周年を祝ってスカウティング発祥の地イギリスにおいて第21回大会が開催され、その次の第22回は、2011年にスウェーデンで開催されることが決まっています。

世界スカウト機構(World Organization of Scout Movement : WOSM)では、その次(2015年)に開催される第23回大会の開催地を公募し、日本連盟では23WSJの招致に名乗りを上げることが決まりました。

日本連盟を挙げてこの招致実現に向けて前進できるよう、まずはWSJの招致に関わる様々な事柄や日本で開催するメリットなど、お伝えしていきます。

世界スカウトジャンボリーとは

WOSMの主催する4大事業の1つ(世界スカウト会議、世界スカウトユースフォーラム、世界スカウトムートとWSJ)という位置づけのもので、通常、加盟国連盟の加盟員:14歳から17歳のスカウトが主な参加者となります。

WSJは4年に1度開催されており、通常、北半球で開催される場合は8月、赤道近くから南半球で開催される場合は12月から1月にかけて開催されます。日本では昭和46(1971)年、第13回大会を静岡県・朝霧高原で開催(87の国と地域より、2万4千人が参加)しています。

開催地については立候補の要件を満たした候補国の中から、世界スカウト会議における各国代表の投票により決められます。WOSMではWSJは「祭典」ではなく、「教育の場」であることを強調しており、立候補に当たってはこれに基づくプログラム企画をとりまとめ提出することになります。開催地としてのロケーションばかりではなく、どのようなプログラムが提供され、教育の場としてどれだけの魅力があるのかが問われるわけです。

WOSMによる世界スカウトジャンボリーの定義

世界スカウトジャンボリーとは何か

世界スカウトジャンボリーとは公式の世界スカウト教育イベントのことで、特に世界スカウト機構に加盟する各国スカウト連盟所属の若者のために企画され、世界スカウト会議で選任された国の連盟によって運営され、世界スカウト委員会によって監督指導されるイベントをいう。

世界スカウトジャンボリーは、スカウトの諸原則ならびにスカウトの「ちかい」と「おきて」が最高度に遵守されるスカウトのイベントである。

世界スカウトジャンボリーは、世界スカウト機構の公式グローバル・イベントであり、スカウト憲章ならびに世界スカウト会議の決議に従って実施される。

世界スカウトジャンボリーは、青少年のための教育的イベントであり、世界青少年プログラム方針に則って遂行される。

世界スカウトジャンボリーが否定するもの

世界スカウトジャンボリーは、若者のお祭り騒ぎ、娯楽の場ではない。世界スカウトジャンボリーは、国際的な権威主義的スポーツ大会とか、競い合いの場ではない。

世界スカウトジャンボリーは、各国代表の晴れ舞台とか、青春ハブニングの場ではない。

世界スカウトジャンボリーは、大人が喜ぶための「若者市」ではない。

世界スカウト・ユース・イベント 世界スカウトジャンボリー組織のためのガイドラインおよび基本要件(世界スカウト委員会承認、1995年9月改定、1999年11月、2004年4月)より

23WSJ日本招致のスケジュール(予定)

本年5月の理事会承認から準備作業はスタートしていますが、これからの流れを含め予定を紹介します。

<平成18(2006)年>

- 5月 理事会で23WSJ日本招致承認
23WSJ日本招致について、WOSMに意思表示
- 10月 会場候補地につき、都道府県連盟へ推薦依頼
(11月末日まで→各候補地踏査等スタート)
評議員会で23WSJ日本招致承認
- 11月 23WSJ招致委員会編成承認
→招致委員会編成・各種準備活動着手

<平成19(2007)年>

- 4月 日本招致会場決定&基本プログラム等をまとめ、WOSMに正式な立候補資料を提出

<平成20(2008)年>

- 7月 第38回世界スカウト会議(韓国・済州島)にて、23WSJ開催地決定
世界スカウト会議出席の各国連盟による投票で決定されます!



編集部 WSJ を日本で開催することについて、まずはその意義を伺います。

廣瀬委員長 35年前の昭和46(1971)年、第13回大会が静岡県の朝霧高原で開催されました。87の国と地域から、2万4千人の参加者を得ての大会は、日本の青少年教育運動の戦後復興を世界に向けて発信できたことと受け止めていますし、国内でもそのインパクトはとても大きなものでした。

現在でも青少年教育は世界的命題であり、我が国においても官民一体となって取り組んでいるところですが、中でも思いやりの心や生きる力を養うための「自然や奉仕などの体験活動」への期待はその重要性を強めています。また、世界の中で生きていることを実感し、世界中の国々との相互理解に努める「国際交流活動」への期待もより一層大きなものとなっています。

このような認識に基づき、日本連盟では「第23回世界スカウトジャンボリー」を2015年に日本で開催すべく、WOSMに意思表示をし、その招致活動に取り組んでいくことにいたしました。青少年教育団体としての伝統を誇る当連盟が推進役となり、また地域社会や国からの力強い協力を得て、国際社会の一員として世界にはばたく人材を輩出すべく、日本の青少年を育成していくことがその目的です。青少年期の国際交流体験は、世界観を育成する契機となるだけでなく、人格形成を司る重要な要素であることはご承知のとおりです。

また、より多くの青少年にこの好機を提供すべく、WSJに直接参加できない青少年のためのプログラム「ジョイン・イン・ジャンボリー」を国内でも300か所、20万人の参加者規模で開催することも検討しています。諸団体と協力しあい、すべての青少年を巻き込んだ日本全国を舞台とする「自然や奉仕などの体験活動」や「国際理解教育」を推進することで、本大会の目指す目的が実現できることと確信しています。

編 ボーイスカウトだけのイベントではないということですね。

廣瀬 生きた「国際理解教育」を、学校教育とは別な環境で提供することができ、当該年代の青少年に多大なる影響を及ぼすことができると思います。具体例としては、大会前後での2万人にもおよぶ外国スカウトのホームステイの受け入れを日本全国規模で実施することや、交流する中で外国語教育(特に英語、フランス語)に対しての動機付けが一層高まること、特定の国や人に対する興味から近い将来の学業および職業選択へのヒントが得られること、等が挙げられます。

青少年期における印象深い国際交流体験は、少なからずその後の人格形成に役立つとともに、外国語会話能力の必要性を強く感ずることと思います。海外派遣や受入事業に参加したスカウトたちの声などを通じて、その効果を実感されている指導者の方々も少なくないと思います。

また、先のトリノ・オリンピックでさえ80の国・地域から選手団は2,633人で、かつその多くは成人ですから、世界の150を超える国や地域から3万人もの青少年が集まるWSJは、他に類を見ない事業です。プレ大会として開催される「第16回日本ジャンボリー」や2007年から始まる各種プロモーション活動は、本大会を一層盛り上げるとともに国内の青少年にその大会やスカウト運動への関わりを求める絶好の機会を提供することができるものだと考えています。

編 日本連盟にとってのメリットはどのようなものでしょう？

廣瀬 自国での開催では、約6,000人(外国開催時の約5倍)の参加が可能となるとともに、多くの加盟員がこの大会準備から実施に向けて関わることにより社会に好影響をもたらすと考えられます。

また、世界スカウト機構との関係強化はもちろん、諸機関や他組織との協働を通じて新たな人材交流ができ、スカウト運動との協力関係を一層深めることができると思われま。

他にも、様々なメリットが考えられます。たとえば、スカウト運動を広報する機会が増し、ボーイスカウトの認知度が高まること。また、現在5~8歳の子どもたちが開催年のWSJ参加対象者となりますので、WSJの魅力が吸引力となって新たな加盟員の確保ができ、中途退団の抑止ともなるでしょう。加盟員増加も大いに期待されます。

また、加盟員の増加のほかにも、メンバーの資質の向上にも期待できます。たとえば、国際関係で活躍する人材発掘や人材育成ができること、大会に参加できなくともホームステイ・一国一団交流プログラム・国際理解教材の開発等を通じて様々な国際交流事業を加盟員に提供できること、そして世界基準での大会を経験することから日本ジャン

世界スカウト会議(World Scout Conference:WSC)では、WOSMへの新しい加盟国の承認や、世界スカウト委員会の編成、世界的な教育方針などが決められる他、世界スカウト行事の開催地等が検討されます(WSCについては本誌平成17年8月号を参照ください)。
WSJの開催地についてはWSC参加国連盟の投票によって決められます。1連盟あたり6票を持ち、複数の候補地に票を分けて投票することができます。また欠席の連盟は委任状により投票することができます。



ポリー等今後の各種プログラム開発の質が向上すること、外部団体と協働することで新たなネットワークが構築できること、等が当連盟のメリットといえるでしょう。

編 最後に23WSJ 招致活動の当面の課題についてお話しください。

廣瀬 この好機を我が国がつかむためには、魅力的な候補地の選定・プログラム企画がその柱となることはもちろんですが、同時に、この招致活動に対する当連盟19万人の加盟員のご理解・ご協力が欠かせません。候補地選定やプログラム企画の進捗状況等を随時皆さんにお伝えし、日本連盟を挙げて「WSJを日本で開催しよう！」とのご賛同がさらに深まるよう、国内の加盟員に向けたPR活動を進めていきます。

また、平成20(2008)年7月に韓国・済州島で開催される第38回世界スカウト会議における開催地選定での当選を果たすためには、アジア太平洋地域をはじめ、世界中の各国・地域のスカウト連盟に日本開催の魅力を伝え、協力を仰いでいかなければなりません。このために、BS 振興国会議員連盟、文部科学省、外務省をはじめ各種機関、財界のご支援を仰ぐとともに、当連盟の国際関係において豊かな経験と人脈をお持ちの理事や参与、世界スカウト委員経験者の方々にもアドバイザーグループとして側面支援をいただきながら、各国・地域のスカウト連盟とのコミュニケーションを図っていきます。

編 ありがとうございます。



23WSJ 日本招致委員会委員長
廣瀬 修(ひろせ・おさむ) - 日本連盟副理事長

WSJのプログラム要件

WSJについては、「世界スカウト・ユース・イベント 世界スカウトジャンポリー組織のためのガイドラインおよび基本要件」の中にホスト国となる連盟の果たすべき様々な任務や、会場、運営、PR 活動など様々な要件が定められています。プログラム活動についても多くの決まりがあり、これに沿ったプログラム企画をとりまとめていくことになります。

その一部を紹介すると、たとえば、

- ・**地球開発村 (GDV)** が推進され、各国の関連機関と世界レベルで関係を維持しながら作業を進めること。
- ・**文化の交差点 (COC)** によって参加者が世界の文化の多様性についてよりよい理解を得る機会となること。
- ・**科学の都市 (COS)** によって科学と技術が現在や将来において、人類にどんな影響を与えるかについて学ぶ機会を得ること。
- ・**ワールド・スカウト・センター**が、世界スカウト事務局との密接な協力で立ち上げられ、各地域のスカウト活動の展示エリア、派遣団長のためのサービス支援センター、世界スカウト機構の相互展示情報エリアなどが設けられること。
- ・**宗教儀礼活動**に対して特段の配慮がなされること。
- ・**スカウト通信員、ラジオ・スカウティング**(ジャンポリー・オン・ジ・エア)、インターネット・リンク、ジャンポリー・ピース・パッジなど、サブキャンプ・ライフがあること。

などです。

また、そのプログラム企画にあたっては、世界スカウトジャンポリー・プログラム・ガイドライン(1996年3月)に則ったものであることも要求されます。このガイドラインはたとえば以下のような項目についてそれぞれ詳細に規定しています。

[ジャンポリー・プログラム: 教育目的]

[ジャンポリー・プログラム: 手法]

[ジャンポリー・プログラム: 活動]

<教育的活動>

<魅力的活動>

<活動の範囲>

平和教育 環境教育 開発教育 健康教育 精神教育

<独自の活動>

地球開発村 (GDV) セントラル・エキジビジョン・エリア フォーラムとディベート セレモニー 自由時間

[ジャンポリー・プログラムの作成と実施]

<補完的規定>

健康と安全 環境 簡素 言語

なお、「世界スカウト・ユース・イベント 世界スカウトジャンポリー組織のためのガイドラインおよび基本要件」は世界スカウト委員会により随時改定が行われており、23WSJ開催招致のために必要となる最新の要件は、本年12月にWOSMより提示される予定となっています。

23WSJ 日本招致委員会

委員長：廣瀬 修副理事長

副委員長：上島真一郎常務理事・小林孝之助事務局次長

企画部会 部会長：檀上善夫国際委員会委員長

大会コンセプト策定、テーマ・活動策定、事業企画

招致促進部会 部会長：鈴木国夫理事

各国連盟に影響を及ぼす会議やイベント、事業等の企画

海外プロモーション部会 部会長：新藤信夫評議員

外務省や企業ルートのプロモーション支援、海外プロモーション企画、プロモーションツール企画

国内支援部会 部会長：上島真一郎常務理事

文部科学省や内閣府等との折衝、資金調達、国や企業からの支援確保

会場選定部会 部会長：篠田常生教育本部副コミッショナー

選定基準等の策定、会場視察、選定スケジュール管理

広報部会 部会長：有野 廣広報委員会委員長

国内外への情報発信、メディアへのリリース



2006年11月10日 第1回招致委員会にて

23WSJ日本招致に関するホームページを立ち上げました。当面は日本連盟ホームページ内での運用となります。随時状況をアップしていきますので、どうぞご覧ください。

<http://www.scout.or.jp/23wsj>



23WSJ 日本招致のスケジュール (予定)

<平成18(2006)年>

■5月 理事会で23WSJ日本招致承認

23WSJ日本招致について、WOSMに意思表示

■10月 会場候補地につき、都道府県連盟へ推薦依頼

(11月1日まで、各候補地担当者スタート)

評議員会で23WSJ日本招致承認

■11月 23WSJ招致委員会編成承認

招致委員会編成は、各都道府県担当者

<平成19(2007)年>

■4月 日本招致会場決定と基本プログラム等をまとめ、

WOSMに正式な立候補資料を提出

<平成20(2008)年>

■7月 第38回世界スカウト会議(韓国)にて、

23WSJ開催地決定



10月に開催された評議員会での23WSJ日本招致承認、および11月に開催された理事会での23WSJ招致委員会編成承認を経て、いよいよ本格スタートとなった招致活動。今後も本誌では随時最新の情報を紹介してまいります。

委員長のインタビューにもあったように、この招致活動には加盟員の皆さんのご賛同が欠かせません。日本でWSJを開催することに関するご意見、ご要望やご質問など、どうぞお寄せください(宛先は17頁に記載のスカウティング投稿係まで)。



スカウト活動 もしものにそなえて

日本連盟傷害共済制度 早わかりガイドブック

スカウト活動のもしものそなえ「日本連盟傷害共済制度」。スタート年となった平成 17 年度は、1,795 会団、113,273 人（加入率約 53%）と、当初の予想を大きく上回るご加入をいただき、18 年度もさらに普及が進んでいます。

本誌では毎年 2 月号でこの制度の詳しいご案内記事を掲載していますが、「詳細の情報より、基本的な事柄をわかりやすく紹介してほしい」「事故発生時の手続きの流れなど簡単にわかるようにしてほしい」等のご要望をいただきました。

日本連盟傷害共済制度（以下共済と略）のあらまし、手続き方法の概要と、今後の安全策についてお伝えします。

■日本連盟傷害共済制度とは

あらましを簡単にお伝えできるよう、詳細の金額や付帯条件は省略して紹介します。詳細は 2 月号掲載予定のご案内やパンフレット類、ホームページ等でご確認ください。

<対象>

ボーイスカウトの加盟員と保護者、仮入隊者やその親族などを対象としています。

<補償>

スカウト活動中の事故、災害、病気による死亡、怪我、入院や通院の費用、対物賠償などを補償するものです。

<特徴>

これまでにあった一般的な保険とほぼ同等か、それ以上の補償があり、それでいて掛金は安価です。

一般的な保険では入院や通院では最初の数日は補償対象外ですが、1 日目から補償されます。

指導者が同行しない班ハイキングなどの活動や、活動の往復時、ベンチャーの単独行動も補償の対象となり、他の一般的な保険よりもスカウト活動の内容に沿ったものといえます。

加入対象も正加盟員だけでなく、仮入隊者やその保護者など、活動のお手伝いをいただく方なども補償の対象とできる点も、スカウト活動に適した内容です。

<成り立ち>

この共済が上記のような好条件となる理由は、既存の一般の保険に加入するのではなく、加入者の掛金を日本連盟で自ら運用していくことで、様々な条件をスカウト活動に独自に合わせて設定することができたからなのです。

<他の保険との主なちがい>

ボーイスカウト賠償責任保険との違い

共済とは補償の内容が異なります。

賠償責任保険はスカウトや第三者がスカウト活動中の事故などで怪我を負ったり死亡したときに、指導者や連盟組織が支払う賠償金を補償するための保険です。

掛金は日本連盟の加盟登録料からまとめて支払われているので、各団で加入を検討する必要はありません。

メンバー自身のための共済、他者への賠償をカバーするのが賠償責任保険、ということで、併用されるものです。

スポーツ安全保険との違い

ほぼ共済と同種の保険ですが、掛金や補償額、対象などが少し異なります。

ベンチャースカウト以上の掛金は共済より高くなります。活動中の突発的な病気による死亡の際は共済よりも多く補償が受けられますが、入院通院の補償は4日目からしか受けられません（共済では1日目から補償されます）。また、単独行動での事故は対象外となります。

ボーイスカウト保険との違い

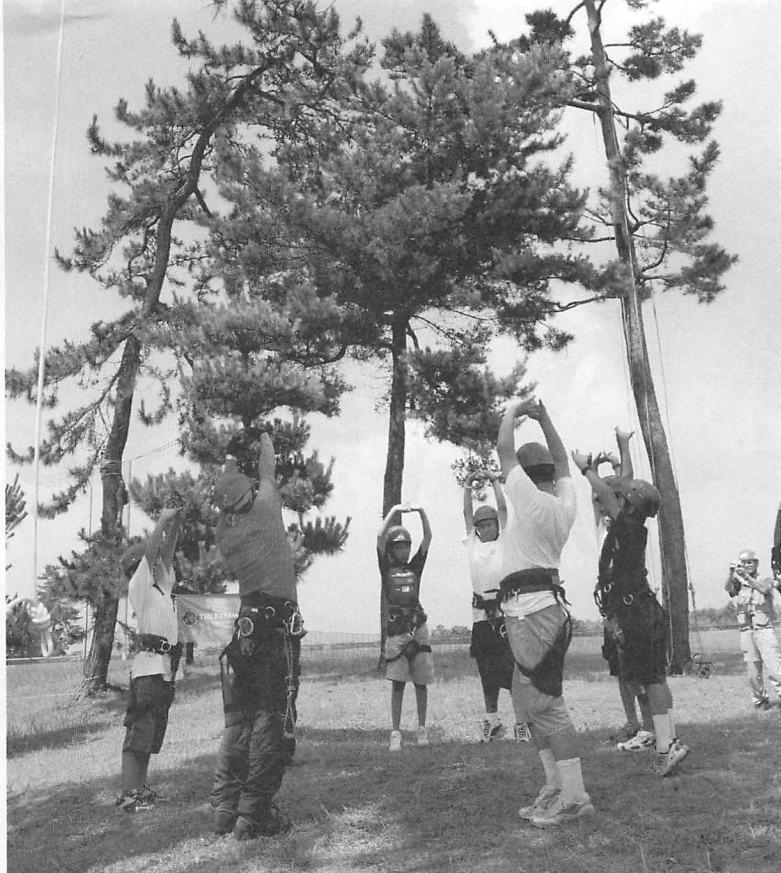
これもほぼ共済と同種の保険です。

標準的な掛金は共済よりやや高く、補償額は共済よりかなり低くなっています。また、指導者が同行していない活動や、活動の往復時の事故は対象外です（共済ではこれらも補償されます）。

<日本連盟傷害共済制度のその他のメリット>

一般の保険の運用益で保険会社が成り立っているように、この共済の運用益はスカウト運動の資源となります。スカウト活動の安全確保のための共済ですから、いずれは各都道府県連盟や地区での安全教育につながる研修やその設備費用を支援していくことなどにつながっていきます。また、その手続き等にかかわる事務費もこの運用益から充当されていきます。

より多くの加入者が得られれば、ゆくゆくは掛金をより安価に設定していったり、補償をより充実させていくこともできます。つまり、スカウト仲間が育てていくスカウト仲間のための補償制度というものが、この日本連盟傷害共済制度なのです。



■主な手続きの流れ

<加入の手続き>

団一括で掛金振込

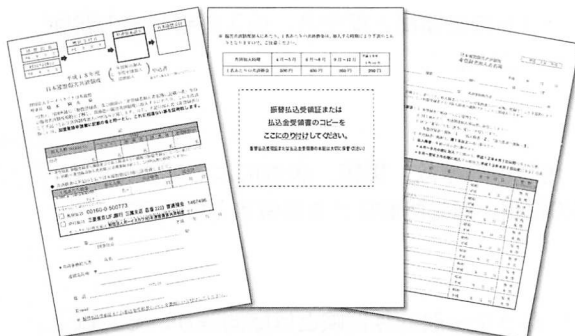
加盟員（+仮入隊者や親族などの非加盟員）の人数分
（各団→銀行・郵便局→日本連盟特別口座）



各団 → 地区 → 都道府県連盟 → 日本連盟

加入申込書を提出

振込受領書のコピーを添える
非加盟員分がある場合はその名簿を添える



<事故発生時の手続き>

事故発生!

1. 日本連盟へ事故報告

事故発生から30日以内

(1) まずは電話で

(団委員長、共済ご担当などどなたでもOKです)
共済あんしんダイヤル ☎ 0422-31-5175

- ①どのような活動中に
- ②どのような事故で
- ③誰がどんな被害にあったか
をお伝えください。……

ご連絡をいただき次第
「事故発生状況 受付簿」という報告用紙をご連絡主にお送りします。



(2) FAX・郵便で詳細を

事故の詳細を「事故発生状況 受付簿」に記入し、提出。
これで事故の連絡は一旦完了です。

日本連盟から書類送付・あるいは免責案内

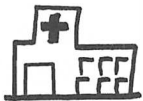
事故の程度・内容により、事故にあった本人や、対物賠償責任の発生した団など、必要などところに書式等のご案内をお送りします。

2. 事故報告書兼給付金請求書作成・必要書類と併せ提出

完治後、すみやかに

日本連盟から送られてきた用紙に治療内容などの詳細を記入。
(主に傷害事故は受傷者本人、賠償責任事故は団の作業となります。受傷者本人記入の際は、団の確認を受けて日本連盟へ返送します)

事故の規模などにより必要書類は多少異なります。どのような書類が必要になるかなどは日本連盟からの送付文書に記載されています。



主な提出書類

- ①事故報告書兼給付金請求書
- ②活動計画書・参加者名簿
- ③診断書(怪我等の状況により必要)



日本連盟で内容確認・支払い手続き、あるいは免責案内
(請求額が10万円を超えるものは傷害共済運営委員会
で審査します)

3. 給付金お受け取り

銀行、郵便局などの指定口座でお受け取りとなります。
(主に傷害事故は受傷者本人、賠償責任事故は団の指定
口座への振り込みとなります)



スカウト活動のより一層の安全のために

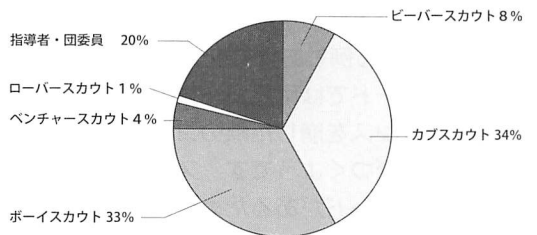
1. 概況

平成17年度の報告事故件数は458件(発生率0.40%)でした。過去のデータ分析による共済制度立ち上げ時の予想事故発生率は0.18%でしたので、約2倍の事故が発生していることとなります。

また、事故は夏場に多く発生すると予想していましたが、冬場の活動、特にスキーやスケートの活動時にも多数、しかも骨折等重傷事故が発生しています。

2. 部門ごとの事故発生状況

458件の部門ごとの割合は以下のとおりです。



活動が活発なカブスカウト、野外活動の多いボーイスカウトの事故が多いことは予測していましたが、指導者の事故が20%に達したことは予想外でした。

(参考:登録人員構成比率 ビーバー 10.0%、カブ 19.9%、ボーイ 17.4%、ベンチャー 8.6%、ローバー 5.8%、指導者・団委員 38.1%)

3. 傷害の内容

①切り傷、創傷、②虫、ハチさされ ③捻挫・骨折が多く発生しています。

事故の種類としては以下が多数です。

ハイキングやゲーム中での転倒事故	21%
スキー、スケート時の転倒事故	16%
キャンプ中の虫、ハチさされ	14%
サイクリングや往復途上の自転車転倒事故	7%

4. 事例分析

(1) 野外での捻挫・骨折

受傷で最多のものは転倒・つまずき(102件)で、斜面歩行や段差での発生が多くなっています。ハイク中や野営地において不安定な石や地面で足関節(足首)に捻挫・骨折をきたしたものと考えられます。また転倒の際に手や肘を地面に着けたことによる手関節(手首)や腕の骨折もみられます。

(2) 刃物による事故

切創(43件)に関してはナタ・ナイフ・包

丁によるものが多数です。毎年教育本部コミッショナーより刃物の取り扱い等について注意喚起がなされていますが、依然として事故報告が多数見られます。

傷病のほとんどが人さし指の切創ですが、ナタ創傷では薪にはじかれた刃が手の甲に当たり受傷するケースもあります。中にはナタによる親指の切断や包丁による小指の切断も報告されています。

(3) スキー等での転倒

冬の活動ではスキー・スノーボード(55件)による転倒、衝突が多く、大半は膝やむこうすねの骨折・捻挫です。現在のスキーブーツのシェルがふくらはぎの半ばまで覆っているために転倒の際に負荷が集中し、受傷するものと考えられます。

さらに転倒時に手を着く際、ストックのベルトに手を通しているため不自然な形での接地となり、手首や親指が骨折・捻挫に至る例もあります。

スノーボードでは両足が一枚のボードに固定されているためにバランスを崩した際のコントロールが難しく、一気に転倒に結びつくようです。スキーやスノーボードでは斜面でかつスピードがあるために、転倒時には各部の骨や関節に“過度なねじれ”の力が加わるため、受傷したときのダメージが大きくなります。

アイススケート(20件)では全例が転倒ですが、非常に硬い氷面に体を強打することにより受傷し、下肢よりも手首や腕の骨折が多いのが特徴です。

(4) 火の扱い

火傷(12件)については料理中に熱湯を浴びることにより受傷したものが最多です。不安定なかまどや地面に置かれた鍋、フライパンをひっくり返すことが多いようです。

(5) その他様々な危険

転落・落下では舎営における二段ベッドからの転落が5件報告されており、本人はもちろんのこと、下にいた他者が受傷する事故も起きています。

衝突事故(51件)では風にあおられたテントがぶつかった例があり、この時は同時に複数のスカウトが受傷しています。

自動車事故(10件)ではやはり重傷度が高く、外傷性クモ膜下出血、肺挫傷、肝挫傷、頭部打撲、全身打撲などが見られます。

その他、今回の事故報告では多種の受傷が報告されていますが、予期しえぬ不慮の事故ばかりでなく、予防できるはずの事故も数多く見られました。

5. 今後の安全対策について

日本連盟ではこれまでボーイスカウト保険やスポーツ安全保険等の傷害保険への加入については、各団での加入をお願いしていたため、全国の事故発生状況を把握できていませんでした。今回、傷害共済制度の発足により1年を通

し貴重なデータが集まりました。この制度を継続して進めることにより、さらに多くのデータ収集ができ、事故防止、安全対策につながる方策が構築できるものと思います。

現在、傷害共済運営委員会ならびに、教育本部の関係委員会等において、この傷害共済のデータを基に、以下の事故防止策、安全対策に関連する事項の検討、ならびに具体的なルール作り等を進めています。

(1) 指導者の安全意識向上対策

指導者の事故発生率が全体の20%を占めたのは予想外で、重要な問題提起をしてくださいました。本来スカウトの安全管理者である指導者が、その責務を果たすどころか自らの安全管理もできていなかったこととなります。県連盟コミッショナー会議や安全委員会等の主要議題に取り入れ、組織的かつ抜本的対応策を講じていただくことにしています。

(2) スカウトのスキー訓練行事対策

スキー訓練実施時の事故が16%と多く、しかも骨折等の重傷事故に繋がっています。危険の伴うスキー訓練において、しかるべき専門指導員のもと安全確保がなされているか、また事前の準備訓練や安全教育が十分になされているか等も視野に入れた抜本的な検討を県連盟コミッショナー会議や安全委員会、プログラム委員会等で実施していきます。

(3) 活動計画書等の整備の必要性

活動中の事故低減のために、行事の活動計画書や実施報告書、団会議や団委員会、リーダー会議の会議録の作成、そして安全に関わる計画書の作成・整備を必ず遂行するよう徹底する必要があります。このことは、単に安全対策の面のみだけでなく、団運営の活性化に繋がるものと考えられます。安全委員会、プログラム委員会に加え、組織拡充委員会等と連携をとり対応していきます。

(財) ボーイスカウト日本連盟 傷害共済制度推進室

(傷害共済制度平成17年度運用概要報告より要約・再編集)

活動の安全対策のためのデータ分析にも役立つ「日本連盟傷害共済制度」。より多くの団のご加入をよろしくお願ひします。補償内容などの詳細は加盟登録申請書類等と一緒に12月全団に送られる平成19年度の加入申込書と関連資料一式をご覧ください。また、日本連盟ホームページにも各種の資料が掲載されています。

トップページ ⇒ メンバー向け情報 ⇒ 日本連盟傷害共済制度

<http://www.scout.or.jp/j/info/pr/kyosai/kyosaip.html>

隊 活 動 の ヒ ン ト

キーワード：協力・観察・理解・1年を通して

アクティビティ名	星座ゲーム
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・星座について興味と関心を持たせ、じっくり観察させる。 ・組で星座を作っていく中で、協力の大変さと楽しさにふれさせる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・星座早見表を使って、紙コップと懐中電灯で星座を作る。 ・星座の当てっこをする。
指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパスの使い方は、方角（角度）ではなく、方向（東西南北）がわかる程度でよい。 ・組集会で星座を決めておき、星座にまつわる物語やいわれなどをスタンツにして、このアクティビティの最後に発表するというのもあり。
準備物	・星座早見表、紙コップ、懐中電灯、ランタン、マジック、ロープ、セロテープ

<準備>

- 平らな地面に、全天に見たてた円をロープで作る（上から見下ろせるところが近くにある場所が望ましい）。
- 円の中に、ランタン等を北極星として置いておく。
- 星座の名前を書いたくじを作る（組の数と同じだけ）。

<進め方>

①アクティビティの説明をする。

「各組で、あの円を夜空に見立てて星座を作ります」

「今、円の中に見える灯りは北極星です」

「星座早見表とコンパスを使って、星座を正しく作ってみましょう。懐中電灯に紙コップをかぶせて星にします」

「紙コップにはマジックで色をつけてもかまいません。組でどんな色にするか相談しましょう」

「できあがったら、他の組は何の星座を作ったか当てっこしてみましょね」

②星座早見表の使い方を教える。

③コンパスの使い方を教える。

④星座のくじをひいたら組ごとに活動に入る。

⑤星座ができれば、他の組の星座が何であるか、お互いによく見て星座の名前を当てっこする。

※紙コップはセロテープでとめるとよいでしょう。懐中電灯は、ヘッドランプ型を想定しています。

参考

IORE SHEET No.21

「星座の森合わせ」

編 者：財団法人 教育科学研究所

発行所：株式会社 文理

★プログラム委員会・野外活動検討チームから★

これまでこのページに掲載したものは、机上の計画ではなく、すべて実際に行ったものです。ビーバー編・カブ編と分けていますが、部門に応じてアレンジすればどちらでもやれるものもあります。実際にやってみての感想や、アレンジ・発展させたもの等をぜひ投稿してください。

また、全国の指導者の皆さんからのヒントも募集しています。活動の様子がわかる写真またはイラスト等（1～2枚）を添えて、ぜひご応募ください。原稿作成には、当チームが協力させていただきます。

★ アクティビティ大募集 ★

このコーナーでは、皆さんが隊で実践したプログラムやアクティビティを募集しています。スカウティング編集部「隊活動ヒント・アクティビティ係」まで、どしどしお寄せください。また、編集部と共同でアクティビティを実践して下さる隊も募集いたします。皆さん、ふるってご応募ください！（目次頁下段の宛先まで）



活動自慢



コンテスト

最優秀作品紹介 その2

4月号でお知らせいたしました、若いスカウトたちの自慢できる活動を募る「活動自慢コンテスト」。マジ部門の最優秀賞は、二つの活動が同点金賞となりました。

前号では奈良・橿原第9団RS隊の「大和ユース議会設立」をご紹介しましたが、今月号では同じく最優秀賞の愛媛・新居浜第2団VS隊の「LOVE&OOSHIMA」をご紹介します。



今回で紹介するのは、「LOVE & OOSHIMA」というタイトルで応募された愛媛よりの活動自慢です!!

タイトル	LOVE & OOSHIMA
作品ポイント	7-ループプロジェクトとして取り組む。7-ループ名「ビッグアイルランド」。新居浜市沖にある大島(完結後5分)は、平成17年度小学児童から3名と祭り「運動会、文化祭、伝統行事である「とじ祭り」の関係が困難になりつつあることを聞き、我々ハンカ隊が、地域行事の活性化のため協力するという活動である。一年間を通して大島へ渡り、地域の人々とともに24時間近い存在となった。特に「とじ祭り」は、復活し始めた今年を24年を迎えた。
情報	地域にもとハンカ隊がなく24時間近い存在となつたこと、指導者としては、喜ばず。

受付フォーム
活動自慢コンテスト(マジ部門) 自慢部門 受付番号: 00-3
志願者: 中野 雅子
所属: 新居浜市第2団 VS 隊
年齢: 18歳
性別: 女
連絡先: 089-925-XXXX
住所: 〒790-0000 愛媛県新居浜市
活動期間: 平成17年6月12日 ~ 平成18年1月31日
活動場所: 新居浜市大島
参加メンバー: 中野 雅子, 橋本 隆夫, 田中 健司, 佐藤 元氣, 宮下 珠一, 笠原 三
予算総額: 20,000円 (個人負担10,000円)

プロジェクト企画書
作成者: 仲村 元氣
テーマ: Love & Ooshima
目的: 新居浜市にある大島は今年度小学児童から3名と祭り「運動会、文化祭、とじ祭り」の関係が困難になりつつあり、我々が参加することにより地域行事の活性化に協力すること。
グループ名: ビッグアイルランド
目標(活動内容): 運動会協力(10月), 文化祭協力(11月20日), とじ祭り準備(12月4日), とじ祭り準備(18年1月4日), とじ祭り(18年1月4日), プロジェクト報告のまとめ
活動展開場所: 新居浜市大島
活動期間: 平成17年6月12日 ~ 平成18年1月31日
参加メンバー: 中野 雅子, 橋本 隆夫, 田中 健司, 佐藤 元氣, 宮下 珠一, 笠原 三
予算総額: 20,000円 (個人負担10,000円)

Project plan and progress charts for 'LOVE & OOSHIMA'. Includes a map of the island and a timeline of activities.

●応募者からのコメント

<スカウトのコメント>
自分たちの力で地域行事「子どもとど」を復活させることができ、とても素晴らしい経験になりました。地域の方々からなくてはならない存在だと言われたことが今後の活動の自信となりました。

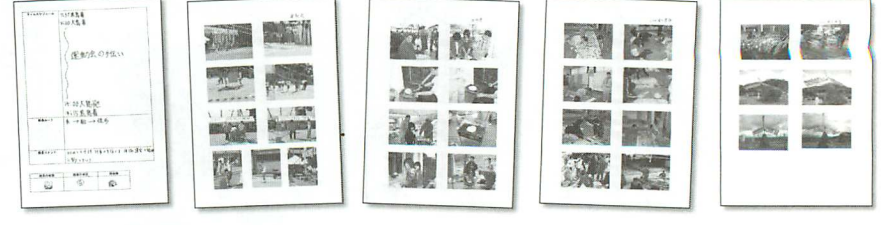
<指導者のコメント>
4年前、公民館館長より手伝ってほしいと声をかけられて始まった活動。プロジェクトとして取り組み、自分たちだけでやり遂げたこと、地域の方々より「任せたぞ」と言っていたことがなにより嬉しいことでした。

今回表彰された大島での取り組みの他、車椅子清掃ボランティア、一日体験隊集会の企画運営など新居浜第2団にとっては頼もしい存在となっています。この9月からは、新居浜地区の他団のスカウトと合同のプロジェクトも始まっています。スカウト活動の輪を広げる努力をおしまないベンチャー隊です。

プロジェクト企画書
作成者: 仲村 元氣
テーマ: LOVE & OOSHIMA
目的: とど祭りの手伝い
実施月日: H18 11月7日(土)
活動場所: 大島
参加メンバー: 中野 雅子, 橋本 隆夫, 田中 健司, 佐藤 元氣, 宮下 珠一, 笠原 三
予算総額: 船代120円
交通手段: 船, 徒歩
安全対策: 1カギを貸す。
備品: 野, 扇, 帽子, 水筒, 着替え

プロジェクト企画書
作成者: 仲村 元氣
テーマ: Love & Ooshima
目的: 運動会協力
実施月日: 平成17年10月2日
活動場所: 新居浜市大島
参加メンバー: 中野 雅子, 橋本 隆夫, 田中 健司, 佐藤 元氣, 宮下 珠一, 笠原 三
予算総額: 船代120円
交通手段: 船, 徒歩
安全対策: 運動会終了後1カギを返す。
備品: 野, 扇, 帽子, 水筒, 着替え

プロジェクト企画書
作成者: 仲村 元氣
テーマ: Love & Ooshima
目的: 文化祭協力(ナンカレー)
実施月日: 平成17年11月20日
活動場所: 新居浜市大島
参加メンバー: 中野 雅子, 橋本 隆夫, 田中 健司, 佐藤 元氣, 宮下 珠一, 笠原 三
予算総額: 船代120円
交通手段: 船, 徒歩
安全対策: 長中津には戻さずつける。
備品: エプロン, 扇, 帽子, 水筒, 着替え



●評(日本連盟ユース特別委員会)

この作品は、瀬戸内海に浮かぶ島、愛媛県大島を舞台に、少子化で子どもたちが少なくなった島の学校の運動会や文化祭にベンチャー隊のスカウトが積極的に参加し、地域の活性化のために大活躍をしているという内容です。この作品は、スカウトの手書きによる計画書・報告書があり、各書類には隊長、副長の承認印を押す欄が設けてあり、プロジェクトのステップがしっかりと行われている点がよくわかります。また、ボーイスカウトという殻に閉じこもることなく、そこから一歩でた地域住

民の方々とのふれあいがよくわかります。そして、今年で4年目を迎えるという長い間かけて行われている活動であり、そして今後も続けていくということがとてもよくわかる作品であり、少子化の進む日本において、今後の我々ボーイスカウトの活動の一つの見本になるであろうということがとても高く評価されました。



次号は誌面の都合でお休みしますが、また2月号から、入賞した活動を紹介していく予定です。どうぞお楽しみに…!!

広告

「買うか、買わないか」より「買うか、レンタルするか」の時代。

年に数回しか使うことのない「ビデオカメラ」。一度は使って見たい「デジタル一眼レフカメラ」。常に最新機種を使用することにより、一生色あせない思い出をご提案します。

便利! 業界トップクラスの品揃え

- 早い!** 最短即日全国発送
- 簡単!** 簡単手続き、簡単受け渡し
- 安い!** 本体価格の高いものを低価格で新製品を安定的にご提供
- 安心!** 質の高いメンテナンス・サポート

お子様の活動記録に

クーポンコード: S 12120605 / 割引率: 5% / WEBからの申し込みの場合: クーポン券入力欄にクーポンコードを入れます。 / 店頭・電話での申し込みの場合: 口頭でクーポンコードをおっしゃってください。

大切な思い出の瞬間を
レンタルカメラで



料金一例
1泊2日の場合

デジタルカメラ	2,000円~
デジタル一眼レフカメラ	6,800円~
ビデオカメラ	3,400円~
プロジェクター	8,000円~
スクリーン	4,000円~

配送費は全国一律・片道740円・往復1,480円

使いたいときに、使いたいカメラを手軽にレンタル
THE RENTAL CAMERA SHOP
http://www.rentalcamera.co.jp/
http://www.rakuten.co.jp/rentalcamera/ (楽天店)

全国ボーイスカウトゆかりの地探訪

⑤日本連盟創設前からここで～岐阜県ボーイスカウト運動発祥の地碑・岐阜

岐阜県ボーイスカウト運動発祥の地碑

JR岐阜駅からほど近い、閑静な区域。そこに古くから地域の人々に親しまれる神社、加納天満宮があります。菅原道真公をまつた古い神社で、1kmほど南に位置する加納城（現在は城跡公園になっている）内から、慶長6（1601）年に現在の地に移されました。加納藩代々の城主の信仰も厚く、今も「加納の天神さま」として親しまれているそうです。

この加納天満宮の手水舎（てみずや、ちょうずや）の脇に、「岐阜県ボーイスカウト運動発祥の地」の石碑があります。



この地に少年たちの活動が起こったのは、大正6（1917）年。仙波太郎陸軍中将（大正5年に退役）が「団長」となり、「加納少年団」が創立されました。当時まだ連盟組織に至っていない少年団の先駆的な存在だったようです。



宮田先生を囲む当時の班長たち（昭和3年）のちの蚊とんぼ会メンバー

仙波中将は、代議士として国会で少年団の必要性を力説されたという人物。これを受けて、後に隊長となる宮田義三郎氏がイギリスよりボーイスカウトの参考書を取り寄せ、加納少年団にボーイスカウト教育を取り入れました。その後、少年団日本連盟が大正11（1922）年に結成されると、加納少年団もこれに加盟。本格的なボーイスカウト教育が実施されました。

平成5年春の記念碑建立を機にまとめられた記念誌『源流』によると、結団当時の隊員たちの服装は「全員木綿の紺緋^(※)の普段着に膝までの短い袴で、草履または運動靴を履いていた。学生帽に団杖を持ち、腰にロープの巻いたものをぶら下げていた」とのことです。

※こんがすり：紺地に白い緋模様のある木綿の織物



第1回日本少年団ジャンボリー参加の加納少年団（大正11年4月）



山中湖畔で行われた第2回全国野営大会参加の岐阜ボーイスカウト（宮田隊長を囲んで）（大正14年）

宮田隊長に育てられた隊員たちが中心となり、加納少年団ゆかりの仲間の「蚊とんぼ会」が昭和6（1931）年に結成されました。若くして亡くなられた宮田隊長のニックネーム「蚊とんぼ」から命名されたこの会は、「スカウトの根を絶やすな、根があれば必ず芽を出すときがあるから」という宮田隊長の遺志を受けて結成され、メンバーは戦後のボーイスカウト復興時も指導者の中心として活躍。現在の岐阜県のスカウト活動の基礎を作られたそうです。

それまでも何度か語り合っていた記念碑の建立が現実的になったのは平成4（1992）年。「蚊とんぼ会」が中心となって進められましたが、その建立資金を集める際、蚊とんぼ会のメンバーで出し合ってもなんとかできそうだったところ、当時の辻理事長の「こういうのは大勢でやるのがええでな」との助言もあり、県下多くのスカウト関係者の厚志を募り、翌平成5年にこの記念碑は完成しました。

神社の例祭や初夏のみそぎ祭り、提灯祭りなどには多くの参拝者でにぎわう、観光名所の一つという加納天満宮。東海道線岐阜駅からふらりと歩ける距離。出張・旅行等の途中で、少し時間を割いて立ち寄ってみてはいかがでしょうか。大正時代に袴姿で境内に集った少年たちに思いを馳せながら、のんびりと手水で心を清めてみたい、そんな「ゆかりの地」です。

住所：岐阜県岐阜市加納天神町4-1（加納天満宮内）
アクセス：JR東海道本線岐阜駅より南東へ徒歩数分
入場料、休館日ともなし



～実りの秋と感謝の心～

宗教関係代表者会議構成員 猿渡 昌盛

七五三の季節になりますと、参拝者より電話での質問が増えてきます。「七五三でそちらの神社に参拝に伺いますが、お包み（御礼）の表紙には何と書いたらいいですか？」

そこで、巫女さんが「はい、御初穂^{おはつほ}が玉串料で結構です」と答えると、電話口よりさらなる質問があります。「おはつほですか？おはつほのはつほって、どう書くのですか？」「はい、お礼の御にはじめての初、いなほの穂です」例年繰り返される社頭の光景です。

私の奉職する神社では、近隣のJA（農協共同組合）のご協力により御神田^{ごしんでん}、すなわち神社専用の田んぼを一区画お借りして、田んぼの持ち主に神田奉耕者として神社専用の稲作をお願いしています。本年も種々のご苦労をおかけしながらも、台風の被害も少なく、例年に増しての豊作でありました。

神田奉耕者には、赤米や黒米（古代米）^{もみ}の発芽から早苗のお世話、2月にはお米がたくさん獲れるように神様にお祈りする祈年祭^{きねんさい}、6月にはお田植祭^{たうえさい}、10月には抜穂祭^{ぬいほさい}、11月には獲れたお米を神様にお供えして豊作を感謝する新嘗祭^{にいねめさい}、12月には伊勢神宮へお参りし獲れたお米をお供えする新穀感謝祭^{しんこくかんしゃさい}などたくさんのお祭にもご参加いただけます。

6月のお田植祭にはビーバースカウトやカブスカストも神事に参加します。泥んこになりながらも田植えを行います。近年、宅地化が著しく、田植えを見ることも体験することも少なくなりましたのでスカウトたちは大喜びです。また、秋の抜穂祭でも、慣れない手に鎌を持ち稲刈りを行います。初夏に自分で植えた苗が、秋には稲穂と実る。神様と自然の恵みを体得してもらいます。

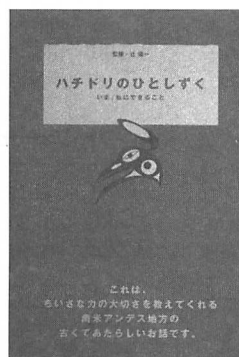
抜穂祭の神事では、お祓いの後、神田奉耕者の手によりたわわに実った稲の穂が刈り取られ、神前にお供えされます。まさに最初に刈り取られたご神田の稲穂「御初穂」が神前にお供えされます。そうです、今では、神社に

参拝するお礼の金品に使われる「御初穂」ですが、深い意味があるのです。

ちょっと前までは、初穂だけでなく、山や畑で採取された初物も神様に捧げて、実りの感謝をいたしました。また、旅行の珍しいお土産やご近所からの頂き物もまず神棚や仏壇にお供えし、後で頂いたものです。飽食の時代、スーパーの店先に溢れる野菜や果物でも、食べる前には神様の恵みと自然に感謝する心を大切にしてほしいものです。



おすすめの冊



地球温暖化で、異常な旱魃^{かんぱつ}や洪水が世界各地で起こっています。今年のオゾンホールも過去最大の大きさでした。私たちの住んでいる地球。宇宙から見た地球には、肌の色の違いや言葉の違い、宗教の違い、貧富の差も見えませんが、一人ひとりの力には限りがありますが、一人でもできる温暖化防止策もあります。始めませんか、みなさんも。そんな気持ちにさせる本です。

「ハチドリのはとしづく いま、私にできること」

発行所：光文社 定価：1,200円

INFORMATION

DECEMBER 2006

日本連盟からのお知らせ

■傷害共済運営委員会(第7回)の開催(報告)

日時:10月4日(水)12:00~15:30
場所:東京・八重洲倶楽部
出席:岡谷委員長他7人
協議事項:1.給付金の支払いについて
2.平成17年度の実績評価と、次年度への対応について
3.平成19年度加入申し込み案内について 他

■財務委員会(第2回)の開催(報告)

日時:10月6日(金)13:30~15:30
場所:東京・(株)サーベラスジャパン
出席:廣瀬委員長他2人
参席:橋本理事長
協議事項:1.平成18年度収支予算実施状況について
2.平成19年度予算計画について

■第22回アジア太平洋地域スカウト会議準備会議(第3回)の開催(報告)

日時:10月7日(土)~9日(月)
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:日本連盟-廣瀬実行委員長他12人
APR事務局-ラシード事務局長、プラサナ管理・リソース開発部長、シドプログラム・IT部長、エドワード・クック第5回APRユースフォーラム議長
議題:ホスト国連盟実行委員会各担当/会場予約状況/指定航空会社/査証便宜供与/会議プロモーション/記念切手の発行/ウェブサイト/関連行事の開催日程/会議予算/会議記念品/会議参加申込方法/第5回APRユースフォーラム/コース・フォー・リーダーアートレーナー 等

■県連盟コミッショナー会議(第2回)の開催(報告)

日時:10月14日(土)14:00~15日(日)11:45
場所:島根・すいてんかく
出席:篠田・清水教育本部副コミッショナー、県連盟コミッショナー45人(代理5人を含む)、島根連盟より理事長他7人

主な内容:1.報告事項
2.全体会「スカウト数減少に歯止めをかけるためには」について
各県連盟コミッショナーが策定したアクションプランへの取り組みに対する中間報告(※事前提出の中から10県連盟に報告していただいた)
3.分散会「スカウト数減少に歯止めをかけるためには」中間報告(※10県連盟の報告内容ごとに分散し研究した)
4.全体会2「分散会報告」
5.全体会3「平成19年度事業計画」策定について
6.情報交換・質疑応答・連絡事項

■宗教関係代表者会議(第2回)の開催(報告)

日時:10月16日(月)13:00~16:00
場所:東京・八重洲倶楽部
出席:真山プログラム委員会副委員長他構成員9人
協議事項:1.仏教章(本山獅子谷法然院)授与基準の新設について
2.宗教章授与基準設置教宗派の活動休止について
3.平成19年度全国大会での教導職の集いについて
4.第14回日本ジャンボリー信仰奨励プログラムと宗教儀礼の評価・反省・今後の展望について 他

■評議員会(第2回)の開催(報告)

日時:10月21日(土)14:00~17:00
場所:東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
出席:評議員51人、代理3人、参席6人
協議事項:1.平成19年度国庫補助事業等の要望について
2.平成19年度公益団体等補助事業の申請について
3.都道府県スカウティング褒章の制定について
4.平成19年度事業計画基本方針ならびに作成スケジュールについて
5.第23回世界スカウトジャンボリーの招致について

■21WSJ隊長会議・派遣団本部会議・IST準備訓練(第1回)の開催(報告)

日時:隊長会議 10月21日(土)11:00~17:00
本部会議 10月21日(土)12:00~22日(日)10:00
IST訓練 10月22日(日)11:00~16:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:派遣団本部員・実行委員30人、派遣隊長34人、副長(オブザーバー)14人、IST70人
主な議題:派遣団の編成/大会の概要/派遣日程/派遣予算/旅行手配旅行会社紹介/21WSJプロモーションビデオ上映/分団・隊別準備訓練/出発直前準備訓練/派遣に関する連絡文書/服装・装備・記念品/日本派遣団提供プログラム/IST訓練

■アダルトリソース特別委員会(第3回)の開催(報告)

日時:10月21日(土)13:00~22日(日)11:20
場所:東京・ボーイスカウト会館および国立オリンピック記念青少年総合センター
出席:西田委員長他3人
協議事項:1.「スカウト運動の成人に関する方針」ハンドブック(仮称)の作成について 他

■ギフト・フォー・ピース実行委員会の編成について

ギフト・フォー・ピース実行委員について、下記の4人の方を平成20年3月31日を任期として委員に委嘱しました。今後、ガールスカウト日本連盟からの委員4人とともに委員会活動を開始します。

東京 昭島第1団 石井 琢磨
福井 武生第5団 松田 茂孝
愛知 碧南第1団 高巢 聡
奈良 奈良第6団 佐藤 雄哉

■理事会(第2回)の開催(報告)

日時:11月1日(水)14:00~17:00
場所:東京・尚友倶楽部
出席:橋本理事長他16人、監事1人
協議事項:1.平成19年度国庫補助事業等の要望について
2.平成19年度公益団体等補助事業の申請について
3.都道府県スカウティング褒章の制定について
4.平成19年度事業計画基本方針ならびに作成スケジュールについて
5.第23回世界スカウトジャンボリーの招致に関わることについて
6.政策委員会の設置について
7.その他
1)評議員の一部交替について
2)平成20年度全国大会の開催地について

5号議案「第23回世界スカウトジャンボリーの招致に関わることについて」では、招致委員会の編成が下記のとおり行われ、承認されました。

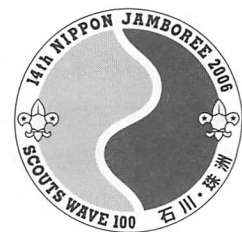
委員長:廣瀬 修副理事長
副委員長:上島真一郎常務理事
小林孝之助事務局次長
企画部会 部会長:檀上善夫国際委員長
招致促進部会 部会長:鈴木国夫理事
海外プロモーション部会 部会長:新藤信夫評議員
国内支援部会 部会長:上島真一郎常務理事
会場選定部会 部会長:篠田常生教育本部副コミッショナー
広報部会 部会長:有野 廣広報委員長

■プログラム委員会(第3回)の開催(報告)

日時:10月28日(土)15:00~20:00
場所:東京・ボーイスカウト会館
出席:上道委員長他4人
協議事項:1.信仰奨励章について
2.宗教関係代表者会議での調整事項について
3.新規の宗教章授与基準の制定について
4.全国スカウトフォーラム後の展開について
5.青少年プログラムの総体的見直しについて
6.ローバー年代のスカウティングについて
7.長期キャンパキャンペンについて 他

■第14回日本ジャンボリー実行委員会(第11回)の開催(報告)

日時:10月28日(土)13:00~17:00
場所:東京・国立オリンピック記念青少年総合センター
出席:西村実行委員長他22人、代理出席1人、参席2人
協議事項:1.報告書の作成について
2.大会記念品(アルバム)について
3.収支決算について
4.評価・反省について 他



〈お詫びと訂正〉

●スカウティング11月号22頁に以下の誤りがありました。お詫びをし、訂正いたします。

第6回韓日スカウトフォーラムの開催場所
(右上囲み)

(誤) 韓国・金羅南道・順天市ほか
(正) 韓国・全羅南道・順天市ほか

ご支援ありがとうございます

*維持会員(敬称略) スカウト運動を財政面からご支援した
だいている個人・法人会員の方々です。

2006年度 9月度

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| 【北海道】 | 新保正 | 水野忠嗣 |
| B S 留萌2 | 後藤耕一 | 東別院スカウト育成会30 |
| 角玄泰雄 | 正木医院 | 岡田和夫 |
| (学)有和学園 | (ア)アートグラフィック新潟 | B S 幡豆育成会 |
| 【青森】 | (株)村尾技建 | 安藤久司 |
| 佐藤正 | 麒麟山酒造(株) | 梅田克己 |
| 【岩手】 | (株)リリー | 前山秀興 |
| 上田有三 | (株)山忠 | 【滋賀】 |
| 【宮城】 | 新高速印刷(株) | 清水幸一 |
| 仙台30育成会事務局 | 新潟総合警備保障(株) | 【京都】 |
| 平井達郎 | (株)有沢製作所 | 井上優 |
| 石川隆夫 | (株)池田医療電機 | 【兵庫】 |
| 井藤晃 | 星野電気(株) | 長谷川誠資 |
| 松岡大介 | (株)ナカノシステム | 津田芳宏 |
| 【秋田】 | 三井企画(株) | 野上一恵 |
| 小西稔 | 高野雅 | 平部英貴 |
| 高橋和村 | 岩井会計事務所 | B S 神戸47 |
| 【山形】 | 島垣善子 | 【奈良】 |
| 蔵増昌孝 | 桜井新 | B S 北葛城2 |
| 【茨城】 | 新潟中央果(株) | B S 生駒8 |
| 岩瀬和博 | 新潟駐車場(株) | 森八郎 |
| 佐藤一郎 | 大明建設工業(株) | 長谷川勝広 |
| 戸館善敬 | (株)東和製作所 | 岩井均 |
| 戸澤敏雄 | 共和工業(株) | 岩井賢司 |
| 井館養子 | (株)トップライズ | 【和歌山】 |
| 稲野辺正男 | カトリック高田教会 | 尾野寺常芳 |
| 【群馬】 | 笹菊薬品(株) | 遠藤千晶 |
| 須藤忍 | (株)中越興行 | 中村光太郎 |
| 小松俊一 | 丸新照(株) | 【大阪】 |
| 工藤郁二 | 池淳一 | (株)大阪BS振興協会 |
| 【埼玉】 | 新潟日産モーター(株) | BS大阪27育成会 |
| 板橋明次 | (株)新潟クボタ | B S 枚方16 |
| 【千葉】 | 石本酒造(株) | 今市教会スカウト育成会 |
| 千葉正 | B S 豊栄2 | 竹本欣司 |
| 鈴木誠 | ラック(株) | 瀬清康匡 |
| 岸本幾代 | 【石川】 | 【島根】 |
| 桜井幸弘 | 木戸浦信隆 | (株)山陰タスキ工場 |
| 岡田幸男 | 池田壽男 | 【岡山】 |
| 【神奈川】 | 山本敏成 | BS西大寺1育成会 |
| 葉袋豊夫 | 内田宏 | 金光榮理雄 |
| 市原政喜 | 小路孝 | 石井集治 |
| 落合正照 | 【長野】 | BS倉敷16育成会 |
| 新井謙太郎 | B S 下諏訪1 | 【広島】 |
| 【山梨】 | 丸山輝子 | 霊岳文悠 |
| 山岸一芳 | 井口欽之丞 | 【香川】 |
| 前田紀 | 【岐阜】 | 橋本重雄 |
| 前田啓子 | 川田基弘 | 池田義高 |
| 【東京】 | 三輪常夫 | 脇義磨 |
| B S 板橋10 | B S 川辺1 | 【高知】 |
| 井上保 | B S 多治見1 | 立石巖 |
| 平山充 | B S 多治見2 | 永野貞之 |
| 笹川俊昭 | B S 多治見3 | 【長崎】 |
| 豊岡亨 | 【静岡】 | 野口憲三 |
| 横山幸夫 | 大橋光男 | 【熊本】 |
| 矢作謙也 | 瀧島金吾 | 鏡昭二 |
| 堀江建治 | 両角実 | 【宮崎】 |
| 奥村勝利 | 川村進 | 田口浩道 |
| 田中隆 | 野中仁 | 【鹿児島】 |
| 北爪太圭司 | 【愛知】 | 浜田泉 |
| 河野史 | 加藤光 | 【沖縄】 |
| 【新潟】 | 酒井文一郎 | 玉城讓治 |
| 鈴木昭 | 鬼頭輝久 | |

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 【日本】 | (株)ジェイティービー | B S 大阪 123 |
| 日本製紙(株) | 杉原正 | 石山昇 |
| 小川テント(株) | 大日本印刷(株) | |
| 双日化成/バルテック事業部 | 川上知勇 | |
| (株)宝生堂 | 本田誠 | |
| (株)松屋 | 上島真一郎 | |

ローカルホットライン

..... 団
 地区
 都道府県連盟
 その他

行事報告
 活動報告
 ...etc

LINE

団・地区・都道府県連盟だより

愛知

☒『自然・生き物われらの仲間だ』

名古屋西地区総務委員
名古屋第63団 団委員 飯田由紀子

10月22日(日)、緑に囲まれた自然溢れる東山動物園で、地区内12こ団のカブスカウトや指導者、家族、体験希望者ら約170人が参加して、第16回名古屋西地区カブラリーが行われました。園内6か所にポイントを設置し、スカウトが地図を手に、ポイントを目指して公園内を歩き回りました。

1つのポイントでは、動物会館館長の鹿島英祐先生から、地球上には140万種の生き物がいて、一日に一種ずつ絶滅し、その原因の4分の3が人間に原因がある話を聞き、どうしたら絶滅が防げるか考えてみよう、問いかけられました。

他のポイントでは、リーダーの説明を聞き、クイズ・ゲームを通じて動植物の観察をしました。スカウトたちからは「地図を見て目的地へ行くのは大変だったけれどゲームをしながらなので楽しかった」「着くのは遅かったけど最後まで頑張れてよかった」等の感想が聞かれ、自然・生き物の大切さを実感した一日でした。



東京

●専修大学ローバース同好会夏合宿

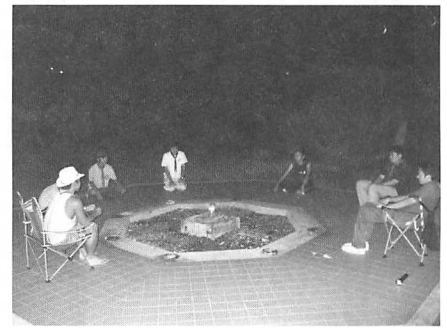
千代田第10団 ローバー隊 伊藤景如

専修大学ローバース同好会夏合宿を、9月4日～7日まで東京都大島で開催しました。今年は、初めてスカウト活動をする2人と、原隊でスカウト活動を行ってきた2人の計4人の新入隊員とともに、船で大島へ向かいました。今回の合宿では、大島の自然を満喫することはもちろんのことですが、隊長のいない大島で専任のクルーによって新人を自分たちの一員であることと認める叙任式を行い、新人にはちかいを立ててもらい、スカウト活動継続者にはちかいの再認ということで、一人ひとりにちかいとおきての暗唱してもらいました。

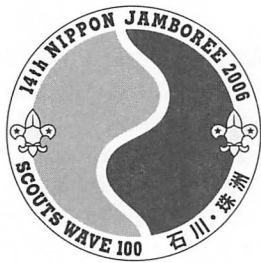
島での活動では、釣りあり、登山あり、動物との触れ合いありと、とても充実した活動内容でしたが、台風接近のため海で泳ぐといった活動ができなかったのがとても残念でした。

それと、我々が合宿出発までに国内旅行保険をかけておくのを忘れ、島でたまたま保険をかけに入った雑貨屋さんみたいな保険屋さんが、実はボーイスカウトの関係者の方で、保険のことから島の情報まで教えていただき、とてもお世話になったことをこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。このような島の人との触れ合いもまた我々クルーにとってのいい思い出になりました。

最後に、大島でお世話になった方、いつも我々を応援してくださっている方々に厚く御礼申し上げます。クルー全員が無事に夏合宿を終えて戻ってこられたことをご報告いたします。これからも東京連盟第一地区千代田第10団ローバー隊専修大学ローバース同好会をよろしくお願いたします。



◇ジャンボリーその後の報道記事



読売新聞 夕刊 (2006.9.25)

北國新聞 (2006.9.16)

ボーイスカウトの里山再生

編集委員 井上 茂男

8月に石川県で取材した 報で何度も説明した。ボーイスカウトの「日本ジャンボリー」は、12年ぶりに炊事の燃料に薪を使ったキャンプ大会だった。ずっと薪を燃料にしていたが、牧場で開催した時に牧草地を荒らさないようにプロパンガスを使い、着火も火加減も楽だと慣れさせてしまった。それがスカウト連動が始まって100年の節目を迎え、「原点へ」と新に戻したのだ。

その調達が容易ではなかった。入手しやすいスキの間伐材は煙が多くて炊事には不向き。煙が少ないクヌギやコナラにしたものの、広葉樹の森の多くが荒れている。森林組合の協力で手ごわいな里山を何とか見つけ、2万人分を確保した。

予想外だったのは、12年の空白でリーダーにも火の起し方やナタの使い方を知らない人が少なくなかったことだ。講習会を開き、会

夕景 時評

新たな取り組みも始まった。ドングリを捨てて休耕田で育て、はげ山にしてしまつた里山に10年がかりで苗木を植え、スカウトたちでジャンボリーの森にしようという試みだ。ドングリの実り方が悪かったり、タヌキが食べてしまったりで、育つた苗木は予定の1割程度というが、「やり遂げたい」と西村さんは意気盛んだ。伐採して始まった里山再生。原点到返って得たものは、なかなか大きいようだ。

2万人がやってきた

「知ってるよ。一万九千人くらいや」

「おー、じゃあ珠洲より多い人が来たってんや。すごいなあ」

「テーマは「風の不思議を突っ走れ」でした。この「風」はどんな意味でしょうか。」

「うーん、なんだろう」

「能登に関係するから、『あい

ジャンボリー毎年開いて

「日本ジャンボリー」

「田んぼみたいなところに、テントがいっぱいあったやうや」

「あそこで、たくさんの方がお泊まり会をした」

「キャンプやっぺ」

「二万人ぐらいの人が来てとってんね」

「二万一千人が参加したそうです。とこで珠洲の人口はどのくらいでしょうか。」



の風」だけ？ そんな言葉があったよな」

「そうですね。海から吹く風のことです。この風に乗って大陸の文化や人々が珠洲に渡ってきたそうです。」

「大陸って、中国とか？」

「つまりは、国際交流のことか」

「それがジャンボリーの目標を振ってたよ」

「外国の人のアランド（お世話をした）」

「メキシコの人を手をつないで歩いてくけど、大きくなってちょっとわかった」

「でも、楽しかったよ」

「皇太子さまがニコニコして手を振ってたよ」

先からのお話

「誰かやるやろ？」

「日本ジャンボリーを毎年珠洲で開けばいいね」

「自然が豊かな所やね」

「酸素濃度が高いことをインターネットでアヒルしたらどう？」

「いっそ、車をなくしてしまえばいいんじゃないかな」

「珠洲キリコ祭りを一週間すればいい？」

「誰かやるやろ？」

「日本ジャンボリーを毎年珠洲で開けばいいね」

（担任・富田洋司先生）



こども討論会

珠洲市蛸島小 (6年生)

「五休みに蛸島で大きなイベントが開かれたのを覚えていますが。」

「五休みに同じぐらいの小学生もたくさんいた」

「全国のいろんな場所から来てるから、バッチ交換とか」

「海岸のごみ拾いをしてくれた。ありがたう」

「キャンプをするのは、電気とかを節約するエコの意味もあるらしいよ」

「一五日間、蛸島町は大にぎわいでしたが、みんな人が多いのと少ないの、どっちが好きですか。」

「多い方がいい。小学生の数は増えるし」

「静かなのが好きやし、少ない方がいい」

「夜とか、うるさそう」

「迷子でたら大変だし」

「東京みたいになくさんの人はむずかしいな」

「それでも、珠洲になくさんの人が来てくれば、活気がきますよ。そのためにはどうすればいいと思いますか。」

「蛸島小が全部金儲けできていれば、たくさんの方が見に来るんじゃないかな」

「珠洲のいい所を、いやほど放送する」

「自然が豊かな所やね」

「酸素濃度が高いことをインターネットでアヒルしたらどう？」

「いっそ、車をなくしてしまえばいいんじゃないかな」

「珠洲キリコ祭りを一週間すればいい？」

「誰かやるやろ？」

「日本ジャンボリーを毎年珠洲で開けばいいね」

人は多い方がいい / 豊かな自然宣伝を

「そしたら、野球部内で試合ができるようになるかも」

「人がいっぱいいて、町が賑わったらしい」

「それじゃあ、蛸島じゃなくなる」

「静かなのが好きやし、少ない方がいい」

「夜とか、うるさそう」

「迷子でたら大変だし」

「東京みたいになくさんの人はむずかしいな」

「それでも、珠洲になくさんの人が来てくれば、活気がきますよ。そのためにはどうすればいいと思いますか。」

「蛸島小が全部金儲けできていれば、たくさんの方が見に来るんじゃないかな」

「珠洲のいい所を、いやほど放送する」

「自然が豊かな所やね」

「酸素濃度が高いことをインターネットでアヒルしたらどう？」

「いっそ、車をなくしてしまえばいいんじゃないかな」

「珠洲キリコ祭りを一週間すればいい？」

「誰かやるやろ？」

「日本ジャンボリーを毎年珠洲で開けばいいね」

読者の「声」

～11月号の記事について～

●表紙

- ◇人の考えに真剣に耳を傾け、本気で話し合っている様子が伝わってきます。
- ◇何の変哲もないごくごく普通のショットで少し寂しい気がします。もう少し視点を絞ったり、皆が笑顔のような写真でもいいのでは。

●第16回全国スカウトフォーラム

- ◇プログラムデザインの流れと内容を要約したことは、各地でのフォーラム実施の参考になる。
- ◇参加者の声を読むと「論より証拠」で参加者の自己研鑽に役立ち、自信を持つようになってきていると感じました。
- ◇富士章のアワードの参考になる。
- ◇内容自体は良いのだが、県のV S Fとどう繋げていくのか、スカウトやリーダーへのはっきりとした強いメッセージになっていないように思う。
- ◇参加者のグループ分けは地域単位にした方がより現地にあった具体的行動案がでて、メンバーが集まりやすく、活動の核になるのでは？自分たちの身の回りで継続してできるものを提案できるグループ討議を期待する。

●隊活動のヒント

- ◇木のこたを考えて剪定するよう注意を促してほしかった。
- ◇ほぼ同じ笛を作ったことがあります。今回の記事では少し説明不足かと思えます。写真だけではなく断面図なども加えた方がわかりやすいのでは？

●活動自慢コンテスト

- ◇ユースのまじめに楽しんでいる活動がどんどん紹介されることを期待します。
- ◇世界ジャンボリーもいければ、地域密着が基本ですね。サッカーのJリーグもそのようなことをいっています。
- ◇最優秀作品が何をしている活動なのかがさっぱりわかりません。実際活動中の現場に取材に行くなど、もうすこしページを割いてもよいのでは？

●14N J参加スカウトの声

- ◇感じたことが素直に書かれていて好感が持てた。書いたスカウト自身も文章にすることで考えが明らかになったと思う。自分の息子にもさせればよかった。
- ◇「友情」「なかま」「協調」「絆」「貴重な体験」「たくさんの楽しい思い出」・・・スカウトらしい言動、ジャンボリーでの楽しかった感想が伝わってきました。
- ◇今後参加対象になるカブにもリーダーから伝

えてほしいです。

- ◇隊の中に感想文を投稿しようとする提案した発案者がいるはずだ。このような考えを持つスカウトや指導者がいることに感動を覚える。
 - ◇本当に一人ひとり見ているところや感じる部分が違うのだということに気づかされます。ぜひリーダー版も！
- ✍️各位、ぜひ投稿お願いします！！

●全国BSゆかりの地探訪

- ◇楽しく、行って活動したくなる企画で非常によいと思う。
- ◇沼の命名なんて面白いですね。行ってみたいです。

●日本連盟からのお知らせ

- ◇報告も結構ですが、委員会で検討する議題について事前に現場の団、隊の声を吸い上げる仕組みが必要です。
- ◇写真コンテストのテーマ「ボーイスカウト」。関係者に向けた募集ならもうすこし絞ってもいいのでは？・・・

●ローカルホットライン

- ◇「ある日のメール」は本当に残念です。こんな状況を見た市民は我が子をボーイスカウトに入れる気がしませんね。引率指導者の指導力の格差がハッキリとでてきている証拠だと思います。指導者の資質向上を図ることが大切です。
- ◇「ある日のメール」スカウト活動の悪い面もちゃんと掲載することはいいことだと思います。読者がそれぞれ考えるきっかけになればいいと思います。
- ◇電車内での話、考えさせられます。私も同じような経験がありました。カブは非常に扱にくい年代ですが、筋道を通して説明してあげればそれをきちんと守ってくれます。「子どもだから仕方がない」では役務を放棄しているのと同じです。
- ◇記事によって扱いが大きすぎるものもある。
- ◇だれもが行っている内容も情報を発信しないと外へは出ないことを感じます。大変いい内容です。

●読者の声

- ◇クラブスカウトについて、にスカウトの声がないのは残念。スカウトの考えや希望を生かすように指導者が応募させるようにすることもいいと思いますが。
 - ◇読者の声を素直な気持ちで聞くことは大切です。しかしこのページは必要なかどうか？隊プログラムのヒントページや隊活動の活性化の提言ページにできないでしょうか？
- ✍️記事を題材に皆さんのいろんな声を集めたい、というのがこのページの狙いです。「フリートーク」もどんどん掲載していきますので、どうぞいろんなご意見お寄せください。皆さんのフリーな円卓会議ページのようにになると嬉しいです。

●スカウトショップニュース

- ◇100周年ワッペンはそれぞれの「違い」がすぐに目につくようにしたらどうですか？「英語版」とか「えいごバージョン！」とか、一目でわかる工夫がほしい。

●韓日スカウトフォーラム

- ◇スカウトたちは実に様々な体験をしていますね。
- ◇若いころからこのような経験ができるのはすてきなことです。今月号は、巻頭の特集とともに社会性の強い内容となりましたね。

●その他フリートーク

- ◇履修問題でとんだ迷惑をこうむっているベンチャーも多いことでしょうね。「現実即して、要領よくやった者勝ち」などというのは、教育の世界ではあってほしくないと思います。
- ◇我が地区、我が団、我が隊の名物人物というようなページがほしい。
- ◇以前のスカウト誌との2誌発行時に比べ残念ながら読み応えはなくなった。
- ◇隊活動のヒントはもっとたくさん掲載してほしい。
- ◇尋ね人コーナー：〇〇大会で一緒にしたあの方は？一緒に指導者訓練をうけたあの方は？などあるといい。

■皆さんの声をお寄せください。

目次頁記載の宛先まで、ハガキ、FAX、Eメールなど、お気軽にどうぞ。記事リクエストも歓迎。掲載させていただいた方には記念品をお送りします。なお投稿者名は掲載していませんが、匿名での投稿はお受けしていません。✍️

投稿お待ちしております

本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念のキーホルダーをお送りしています。投稿は、文字数400字・写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名・掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。

お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。予めご了承ください。たくさんの方の投稿をお待ちしています。

【宛先】〒181-0015

東京都三鷹市大沢 4-11-10

財団法人ボーイスカウト日本連盟

広報チーム スカウティング投稿係

〈Tel〉 0422-31-5163

〈Fax〉 0422-31-5162

〈Eメール〉 pr@scout.or.jp



Scouting 2006 さくいん

タイトル…………… 月-頁

■日本連盟

新春メッセージ……………	1月-2
2006年の事業スケジュール…	1月-5
日本連盟傷害共済制度について	2月-10
平成18年度事業計画表……………	3月-8
ボーイスカウト振興国会議員連盟について	…………… 3月-11
日本連盟 新しい役員の紹介 ……	5月-6
平成18年度事業計画 ……………	6月-6
日本連盟ホームページが新しくなりました!	…………… 6月-12
表彰された方々 ……………	7月-6
日本連盟役員・評議員・顧問等名簿…	7月-8
追悼 橋本龍太郎先生 ……………	8月-6
日本連盟傷害共済制度	
早わかりガイドブック ……………	12月-5



■大会・行事

平成18年度全国大会のお知らせ	…………… 1月-4
第14回日本ジャンボリー	
14NJ事前訓練シリーズ 珠洲への道	
⑤スローライフでこそ?キャンプでの	
「健康・安全」を考える ……	1月-30
ジャンボリー情報①……………	2月-8
ジャンボリー情報②……………	3月-2

ジャンボリー情報③……………	5月-10
ジャンボリー情報④……………	6月-8
ジャンボリー情報⑤……………	7月-10
ジャンボリー情報⑥……………	8月-10
14NJ特集「カモン!珠洲」…	4月-2
ジャンボリーにいかない	
スカウトたちの夏……………	4月-5
みんなの声 ジャンボリー参加に	
関するあれこれ……………	6月-10
14NJ速報	
「あいの風」を受けて…	
スカウトたちの熱い5日間…	9月-2
来賓の方々の挨拶 ……………	9月-4
僕らの大切なジャンボリー…	9月-6
サブキャンプの風……………	9月-8
14NJ驚きのデータ集	
&若手スタッフの声 ……	9月-10
楽しかったジャンボリー ……	9月-22
サンキュー!珠洲 ……………	10月-2
14NJに参加した	
スカウトの声……………	11月-10
平成18年度全国大会のご案内	
……………	4月-8
富士章受賞おめでとう!!……………	5月-22
平成18年度全国大会	
報告(前編)……………	7月-2
報告(後編)……………	7月-26
平成18年度「スカウトの日2006」	
……………	9月-15
全県連盟即日集計状況 ……	10月-11
スカウトの日報告……………	12月-22
JOTI/JOTA……………	10月-12
第16回全国スカウトフォーラム	
報告 ……………	11月-2

■世界スカウト 運動創始100周年事業

世界スカウト運動100周年記念事業	
佐賀 ……………	1月-8
ステップアップ100運動	
実施状況 ……………	2月-6
第2年度フォローアップ!! ……	5月-7
福岡・北九州西地区の	
皆さんに聞く……………	6月-2
ギフト・フォー・ピース 平和プログラムの	
ための研修会レポート……………	3月-22

■プログラム関係

隊活動のヒント

vol.1 ビーバー編……………	4月-7
vol.2 カブ編……………	5月-12
vol.3 ビーバー編……………	6月-13
vol.4 ビーバー編……………	8月-12
vol.5 カブ編……………	9月-12
vol.6 ビーバー編……………	10月-9
vol.7 カブ編……………	11月-7
vol.8 カブ編……………	12月-9

活動自慢コンテスト

募集要項……………	4月-10
最優秀作品紹介……………	11月-8
最優秀作品紹介②……………	12月-10
夏季の諸活動に向けて ~安全の再確認を~	…………… 6月-5



■組織拡充

組織拡充: 県連盟における

「成功(加盟員増)事例」から…	1月-10
平成17年度 全国組織拡充セミナー報告	…………… 3月-6

■国際関係

平成18年度国際交流事業計画(案)

……………	1月-6
第25回アジア太平洋地域	
スカウトジャンボリー速報…	2月-2
第25回アジア太平洋地域	
スカウトジャンボリーレポート…	3月-10
世界のスカウト人口……………	4月-12
平成17年度国際スカウトフォーラム開催	…………… 4月-22
第21回世界スカウトジャンボリー	…………… 6月-22
インドネシア連盟のスカウトによる災害復興	
活動の義援金募金について	…………… 7月-24、8月-20

青少年プログラム開発のための国際セミナー
(ローバー部門)概要報告 …… 8月-2
平成18年度日米・日韓スカウトフォーラム
…………… 10月-22
平成18年度韓日スカウトフォーラム派遣
…………… 11月-22
第23回世界スカウトジャンボリーを日本で
開催しよう! …… 12月-2



■読み物

隊長への手紙 信仰心を育むために

- おかしなお箸の話 …… 1月-9
 - 自己流にならないように …… 2月-13
 - 耳は長く 舌は短く …… 3月-12
 - 式年遷宮と日本人の心 …… 4月-14
 - 信仰を奨励するという事 …… 5月-15
 - ちかいと四弘誓願 …… 6月-16
 - 進歩を目指す心 …… 7月-18
 - チベット高原紀行 …… 8月-13
 - 贈り物 …… 9月-14
 - いのちをいただく …… 10月-10
 - 本はただ一つ …… 11月-13
 - 実りの秋と感謝の心 …… 12月-13
- 原点をたどるシリーズ ウッドクラフトとは
…………… 1月、3~6月、8月
- 全国ボーイスカウトゆかりの地探訪
- ①日本ボーイスカウト初野營の地~滋賀
…………… 4月-11
 - ②カブ隊発祥の地・神戸~兵庫
…………… 5月-13
 - ③日本スカウト運動の先達を訪ねる・
下田豊松資料室~北海道 …… 6月-14
 - 番外編:少年団日本連盟練習船「義勇和
爾丸」の模型、寄贈される …… 9月-13

- ④日本スカウト運動先達の名付けた沼
・神仙沼~北海道 …… 11月-12
 - ⑤日本連盟創設前からここで 岐阜県
BS運動発祥の地碑~岐阜
…………… 12月-12
- 創始者B-Pの
平和へのメッセージ …… 2月-22

■Information

- 日本連盟からのお知らせ …… 1~12月
- 隊指導者研修のご案内 …… 2月-4
- 技能章「救急章」および「看護章」の考査
細目変更について …… 2月-14



■Letters

- ローカルホットライン …… 1~12月
- 読者の声 …… 1~12月
- 投稿「なかば旅行気分ではあるけれど」
…………… 8月-4
- 「こころの名選手を育てよう!」 …… 8月-8

■その他の記事

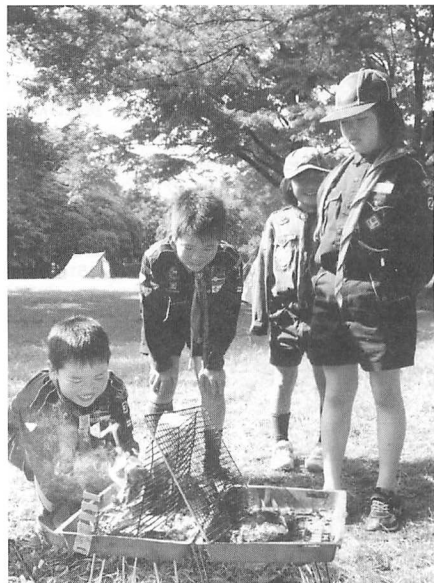
- 名刺交換
- 新春名刺交換 …… 1月-17
 - 2006年夏の誌上名刺交換のご案内
…………… 4月-20、5月-20
 - ジャンボリーで会いましょう!
-夏の名刺交換- …… 7月-14
 - 2007年新春 誌上名刺交換のご案内
…………… 10月-15、11月-15
- 全国ボーイスカウト写真コンテスト
第33回作品募集
…………… 1月-28、2月-20
第33回入賞作品発表!! …… 5月-2

第34回作品募集

- …………… 10月-15、11月-15
- APR写真コンテスト要項 …… 12月-20
- スカウティング・フォト・ライブラリー募集
…………… 3月-20、9月-20、
10月-20、11月-20
- DVD紹介『スチュアート・リトル3 森の
仲間と大冒険』 …… 4月-20
- 書籍紹介 …… 6月-20
- B-P著『自分のカヌーは自分で漕げ』
-少年たちへの助言-(日本語版)
B-P著 新約版『隊長の手引』(日本語版)
B-P著『帝国の若き騎士たち』(日本語版)
- 第3回「小学生のぼうさい探検隊マップ
コンクール」のお知らせ …… 6月-20
- Topic コンバースの広告に
カブスカウト登場 …… 6月-20
- JAXA 筑波宇宙センターを
見学してみませんか? …… 8月-22
- 訂正『ボーイスカウト
スカウトハンドブック』 …… 10月-20
- お知らせ『新冒険手帳』を
お持ちの皆さんへ …… 10月-20
- 報告 日本郵政公社の助成による
多目的テント …… 11月-20
- さくいん …… 12月-18

■Shopping

スカウトショップニュース …… 1~12月



- スカウトテング 1 部料金 409円(本体390円+消費税19円)
- スカウトテング年間購読料 4,900円(税込み)
- スカウトテング12か月+消費税234円=4,914円より端数サービス
- 多部数料金
- 4,900円×()部で計算してください。
- ※別途送料はいただきません

ボーイスカウトカードによる購読申し込み
裏面をお読みください。

払込取扱票

02	東京	払込取扱票	通常払込料金 加入者負担
口座番号		百 十 万 千 百 十 番	金 額
00	1101	82610	
加入者名		財団法人	料 金
ボイスカウト日本連盟		ボイスカウト日本連盟	取 扱
通信欄		スカウトテング誌	新規・継続
〒		毎月	平成
第 () 第 () 団		部	年 月 号 ~ 平成 年 月 号
登録番号		部	年 月 号

払込金受領証

口座番号	001101	通常払込 料金加入 者負担
百 十 万 千 百 十 番	82610	
加入者名	財団法人	金 額
ボイスカウト日本連盟	ボイスカウト日本連盟	
払込人住所氏名	(印欄他込み)	料 金
		円
特別取扱		受付局日附印

裏面の注意事項をお読みください。(私製承認第6775号)

切り取らないで郵便局にお出しください。
記載事項を訂正した場合はその箇所に訂正印を押してください。

第34回

全国ボーイスカウト活動を楽しんで

- テーマ 「ボーイスカウト」(ス)
- 部門 「少年の部」・・・ 「青年・成人の部」・・・
- サイズ サービス判以上四つ切
- 応募方法 写真の裏に応募用紙を
- 審査委員長 田沼武能氏(写真家)
- 主催 財団法人ボーイスカウト
- 協賛 ペンタックス株式会社
- 発表 「スカウティング」誌5 (入賞者には直接通知)
- 応募上の注意 応募作品は、2008年のもので、肖像権

応募用紙

第34回

タイトル	
(フリガナ)	
名前	
住所 〒	
〒 ()	
スカウトの方は加盟員ナ	

日本連盟が所属するAPRでの写真コンテストが今年も開催されます。APRでの選考を経て、最終審査は日本連盟の写真コンテストと一緒に行われます。腕試しにいかがですか？

・様々なスカウト活動の場面、社会的な働きを示す写真等。デジタルの場合は300dpi程度。最大プリントサイズはA4判まで。スカウト、指導者が応募できます(各国連盟で受付)。

・金賞1点、銀賞2点、銅賞3点にそれぞれ記念品が贈られ、2008年のAPRポスターに作品が使用されます。また、選外の6作品を加え、2008年のAPRカレンダーにも使用されます。

・応募作品は返却されず、その使用権はWOSMIに属し、様々なイベント、出版物などで使用されます。

・応募：右の応募用紙に英文で記入のうえ写真裏面に貼り付け封筒表に「APR写真コンテスト」と大きく記載してください。送り先は日本連盟写真コンテストと同じです。

★日本連盟締め切りは2月10日とさせていただきます。

5th Asia-Pacific Scout Photo Contest 2007 ENTRY FORM

Title of Photo		
First Name	Middle Name	Family Name
Age	Gender	<input type="checkbox"/> Male <input type="checkbox"/> Female
Scout Section/ Position		
National Scout Organization (NSO)		
Endorsed by NSO representative (Print Name)	Signature	Date

Cut out or copy this form and paste on the back of each photo or send a soft copy to publications@worldnet.scout.org

日本連盟活動六消制度 手帳からカードブックへ P.5~8

隊活動のヒント……………P.9

活動自慢コンテスト最優秀作品紹介…P.10~11

全国ボーイスカウトゆかりの地探訪…P.12

信仰心を育むために「実りの秋と感謝の心」…P.13

おしらせ・読者のページ……………P.14~17

スカウティング2006 さくいん…P.18~19

スカウトショップニュース……………P.21

平成18年度「スカウトの日」報告…P.22~23

発行所 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 金井昭二

住所 〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10
TEL 0422-31-5161
FAX 0422-31-5162
URL http://www.scout.or.jp/
Eメール pr@scout.or.jp

■財団法人ボーイスカウト日本連盟/写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。

■バックナンバーをご希望の場合は、日本連盟 広報チームまでご連絡ください。

■本誌は再生紙を使用しています。

SCOUT SHOP NEWS

本年は第14回の日本ジャンボリーが開催された思い出の年となりました。皆様には、この一年間、夏用ユニフォーム、ジャンボリーや100周年の記念品などのスカウト用品をご愛顧いただきまして大変ありがとうございました。スカウト用品グループ一同、心より厚く御礼申し上げます。来る2007年は世界スカウト運動創始100周年を祝う記念すべき年に当たります。引き続き、関連した商品を数多くお届けしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

特集

寒い冬の心温まる贈答品

「一年の感謝を込めて何かを贈りたい」という方は、ぜひ、スカウト用品からお選びください。



ノリタケタイバー

品番-72105

¥6,000

マロン色に世界スカウト章を金転写(台はボーンチャイナ) 左右5cm

Noritake



大倉陶園タイバー

品番-72100

¥12,000

瑠璃色に世界スカウト章を金転写(台は白磁) 左右5cm



世界ジャンボリー・メタルピンバッジコレクション

品番-70252 ¥6,000

1920年英国・オリンピアでの第1回大会から2007年英国・ハイランズパークの第21回大会までの大会マークのピンバッジです。

15.5 x 15.5 x 2.5 cmのプレゼンテーションボックス入り 英国連盟製



シルクタイ グリーン&ネイビー

品番-37239 ¥3,150

品番-79434 ¥9,000

ノーマン・ロックエルが1945年に描いた「I will do my best. 最善を尽くします」を描写した織物のタペストリー。膝掛けやベッドカバーにも使えます。サイズ:約120X180cm アメリカ連盟製

I will do my best タペストリー



冬の夜長にぜひチャレンジしてください



B-P ジグソーパズル

品番-76085 ¥1,700

1000ピース 仕上がりサイズ:48 X 68cm 世界スカウトショップ製



世界のスカウト章ジグソーパズル

品番-76089 ¥1,680

1000ピース 仕上がりサイズ:48 X 68cm 世界スカウトショップ製



B-P 立像

品番-70249 ¥10,000

2007年のスカウト運動100周年を記念したポリストーン製のB-P像です。台座の後ろにはシリアルナンバーがペイントされた立像で、記念すべき100周年を祝いましょう。立像の高さ24.5cm アクリルケース10.5 x 13.5 x 28cm 木製台座13 x 13.5 x 3cm

記載の価格は税込価格です。

■ご利用にあたってのお願い

- お求めは県連盟・取扱協力店まで。またボーイスカウトカードをお持ちの方は日本連盟でもお求めいただけます。
- 日本連盟へのご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。日本連盟のインターネットホームページからダウンロードもできます。
http://www.scout.or.jp/j/info/download/download_etc.html
- お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードおよび代金引換(代引)のみの取り扱いとさせていただきます。

- ファクシミリ[0422-31-5169 スカウト用品専用]でご注文をお受けいたします。
- カードは計画的にご利用ください。

*スカウトカタログ2006-2007等の情報はインターネットでもご覧になれます。

URL : <http://www.scout.or.jp/j/info/supply/catalog.html>



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。



青森・十和田第1団



青森・青森第4団

秋田・秋田第26団
 養護老人施設で窓磨き奉仕のあと「花輪ばやし」を披露。お年寄りの皆さん、楽しんで大喜びしてくださいました。帰り道はもちろん、カントリー大作戦。



群馬・高崎第8団



青森・むつ第1団

群馬・桐生第1団



群馬・敷塚第1団

平成18年度「スカウトカントリー大作戦」今年も全国で

期日：平成18年9月18日（日）敬老の日

テーマ：スカウトカントリー大作戦

—「平和について考え、行動しよう!」—

台風13号の影響で実施できなかった地域が全国的に多くありましたが、それでも多数の活動報告書が日本連盟に集ってきました。ほんの一部ですが、各地の活動の様子と、報告書に書かれたコメント等をご紹介します。

愛知・日進第1団

一般児童を迎えるお楽しみプログラムを実施。たくさんの参加者を得たが、対象年齢未満の子が多く、これからも続けてお誘いできる行事を開催して、入団につなげたいと思います。

神奈川・横浜第58団



神奈川・綾瀬第1団



愛知・稲沢第4団



神奈川・横浜第81団



山梨・河口湖第2団



兵庫・姫路第6団

山・赤磐第2 団



長崎・長崎第9 団



長崎・東彼杵第2 団

あそこの角までにゴミを10個拾うこと！ あそこまでにアルミ缶は何個あるでしょう？ などとゲーム形式を取り入れてカントリー大作戦を楽しみました。



岡山・総社第3 団



香川・高松第9 団



鹿児島・曾於第6 団

特別養護老人ホームで車椅子30台を磨きました。今年で24年目になる活動で、喜んでいただいています。

「カウトの日」報告 カウトが大活躍



大分・中津第8 団



福岡・久留米第10 団



大分・大分第9 団



福岡・北九州第45 団



福岡・北九州第8 団

活動の感想など

- ・ひと昔前よりポイ捨てが減っている。
- ・年々空缶の回収数が減っている。今年は本当に少なかった。来年から新行事を立案するよう検討したい。
- ・人通りの少ない区域の方がゴミが多いようだ。
- ・ポイ捨ては減少傾向にあるが、植え込みの中など直接人目につかない場所には未だ心ない人たちの行動が散見された。
- ・家庭ゴミがビニール袋に入れられて植え込みの中に捨てられていたのが複数あった。非常に驚いた。
- ・バス待ちのお婆さんが一生懸命ゴミを拾うスカウトに感謝の言葉をくださり、「孫もぜひ入隊させたい」と言ってくださいました。「健康でいつまでもお元気でいてください」と皆で挨拶しました。
- ・カントリー大作戦は上進してきたばかりの新入隊員にとってはいきなりの活動でしたが、「班になじむ」という点では内容、時間ともにちょうど良かったと思いました。

プログラムパッケージ/ キットについて

- ・記念バッジに「ボーイスカウト BOYSCOUT」の文字がほしい。
- ・火ばさみ（トング）があると助かる。
- ・地域の人々に配布できる環境問題を考えるチラシがあるといい。
- ・小さい軍手、あまり売っていないので助かります。
- ・ドブの缶も拾い水洗いするのでゴム手袋があるといい。
- ・ガラス専用の麻袋があるといい。
- ・今年はベンチャー隊がプログラムを担当。会議を重ね、下見を行い計画を立てました。そのときにアクションシートが大役立ちました。
- ・ゴミ袋は市の指定があるので無駄になる。



SCOUTING 2006/12 643



スカウトイング
昭和33年12月15日 第3種郵便物認可
平成18年12月1日発行 毎月1回1日発行

発行 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局 金井昭二
〒181-0015 東京都三鷹市大塚4-11-10
電話 0422(31)5161(代)

定価 ¥409 (税込)
郵便振替 00110-1-82610
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟

One World One Promise

~ひとつの世界 ひとつのちがい~



1907年(明治40年)、英国の南に浮かぶ小さな島。
ブラウンシー島。
そこに集った20人の少年たちが、1週間あまりのキャンプをしました。
その導き役となったのが、バーデン・パウエル。ボーイスカウトの創始者です。
そのキャンプから、来年で100年。
スカウト運動は世界に広がり、青少年育成の確かな信頼を築いてきました。

ボーイスカウトの創始100周年を迎える2007年。
これからの100年を見据えて、ボーイスカウト日本連盟はより一層の
発展を目指し、世界の仲間とともに前進していきます。



財団法人
ボーイスカウト日本連盟

入団のお問い合わせは フリーコール 0120-333-159 ホームページ <http://www.scout.or.jp>

